

2025年のDX最前線と実践へのロードマップ

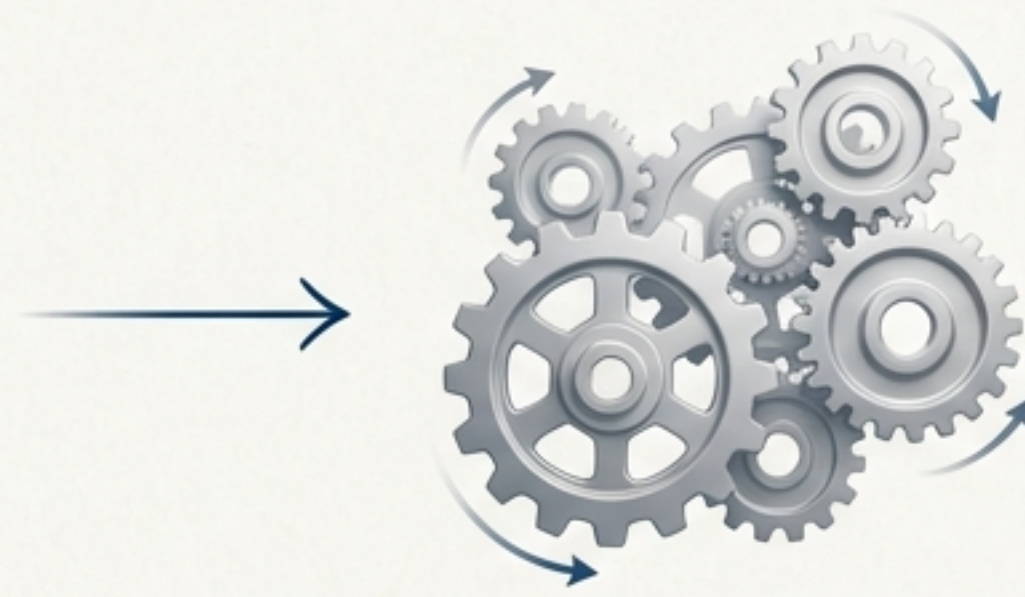
なぜ今、我々は変わる必要があるのか — 自走する組織への変革が始まる

DXを再定義する：単なる「デジタル化」で終わらせない



デジタイゼーション

「紙書類の電子化」など
アナログ情報のデジタル化



デジタライゼーション

「RPAによる業務自動化」など
個別の業務プロセスの最適化



DX

「データ活用による新サービス開発」
など、ビジネスモデル全体の変革

DXとは、デジタル技術を活用し、業務プロセス、ビジネスモデル、そして
企業文化そのものを変革し、競争上の優位性を確立する経営戦略です。

私たちが目指すのは、デジタル化の先にある「**ビジネス変革**」です。

現状維持という最大のリスク：「2025年の崖」

このまま何もしなければ、私たちは崖から転落する。



コストの崖

IT予算の**9割以上**がシステムの維持管理費に消え、未来への投資が不可能に。



競争力の崖

爆発的に増加するデータを活用できず、デジタル競争の敗者となる。



取引機会の崖

インボイス制度や電子契約など、外部からのデジタル化要請に対応できず、ビジネスチャンスを失う。

未来を創るテクノロジー：2025年のDXトレンド5選

経験や勘ではなく、データに基づいた迅速な意思決定（データドリブン経営）が競争力の源泉となります。



なぜDXは進まないのか？行く手を阻む「4つの壁」

予算・ROIの壁

「投資対効果（ROI）が見えない
ため、予算が確保できない」

レガシーシステムの壁

「古いシステムが足枷となり、
新技術と連携できない」

国内の現状：

中小企業のDX取組率は**27.7%**。
大企業の65.6%に比べ、
大きく遅れている。

世界との比較：

米国企業は**89%**が
DXの成果を実感。
一方、日本は戦略や人材に課題。

人材・ROIの壁

「推進できる人材がいない」
「何から始めればいいのか分からない」

人材・ノウハウの壁

「推進できる人材がいない」
「何から始めればいいのか分からない」

企業文化・リーダーシップの壁

「経営層のコミットメント不足」
「部署最速の『肉向き志向』」

中小企業の課題トップ



成功へのロードマップ：身近な業務から始め、全体変革へ

Phase 3: トランスフォーメーション（ビジネス変革）

アクション: 蓄積データの活用による新サービス開発、顧客体験の変革

目的: 新たな価値創出と競争優位性の確立

Phase 2: デジタライゼーション（効率化と原資創出）

アクション: RPA(WinActor等)による定型業務の自動化、
SaaS導入

目的: コスト削減と業務時間の短縮。



Phase 1: デジタイゼーション（基礎固め）

アクション: 紙書類の電子化、チャットツールの導入

目的: 業務の「見える化」と基礎データの蓄積

**ここで生み出した利益（ROI）
を次の投資原資にする。

大変革の事例（有限会社るびや）



そろばん会計からAI来客予測システム
を開発し、**売上5倍・利益50倍**を達成。
「勤と経験」からの脱却。

身近な改善の事例（WinActor）

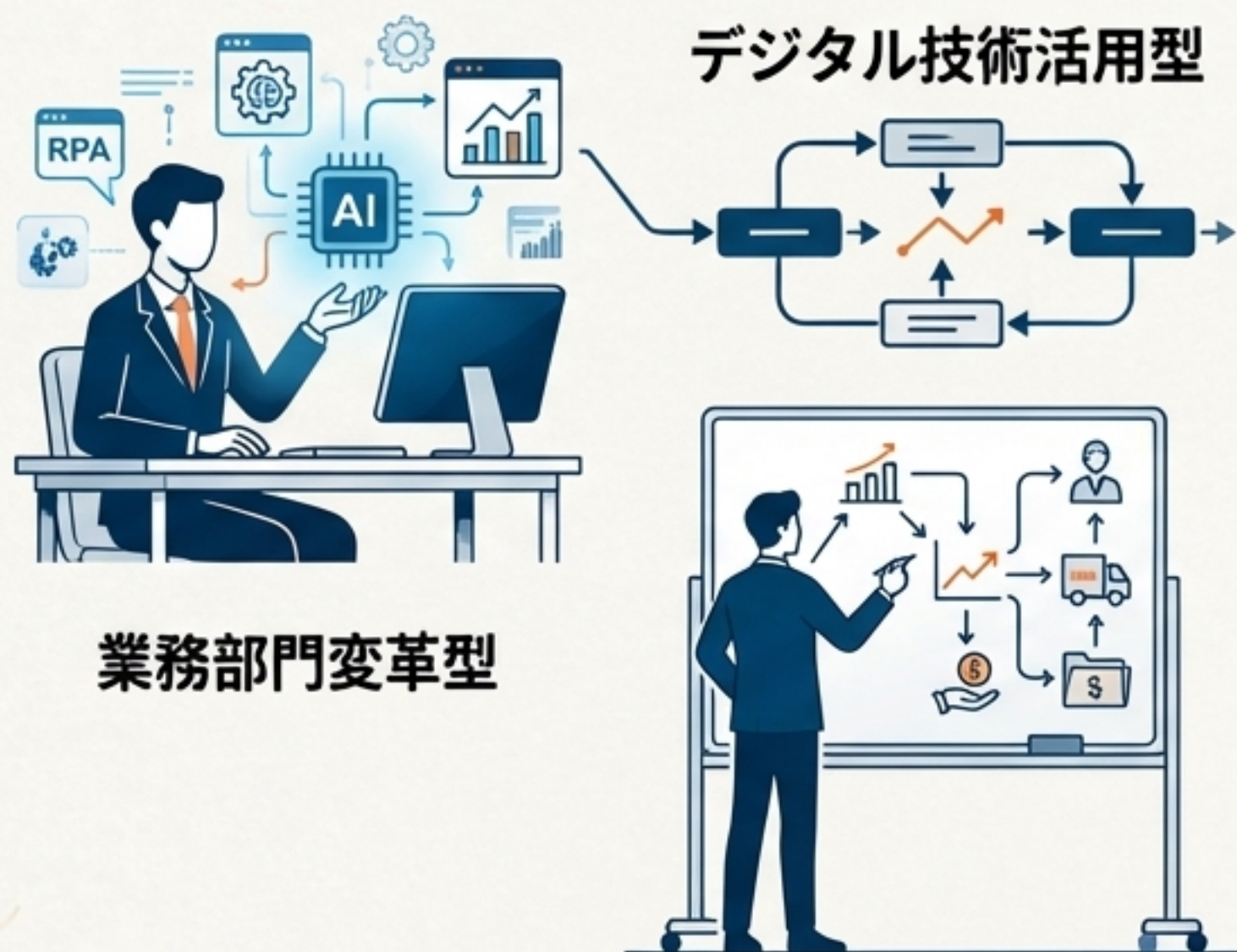


手作業で5分かかっていた発注票作成が
1分に短縮。年間数百時間の業務削減。

人材戦略：「外部任せ」から「内製化」へ

専門家を雇うのではなく、現場を知る私たちが変革の主役になる。

求める人材像



育成のポイント



ハイブリッド育成：社内研修と外部研修を組み合わせる。



リスキリング（学び直し）：既存社員に新たなデジタルスキルを習得させる。



生成AIとノーコードツールの活用：プログラミング知識がなくても、現場主導で業務改善が可能に。

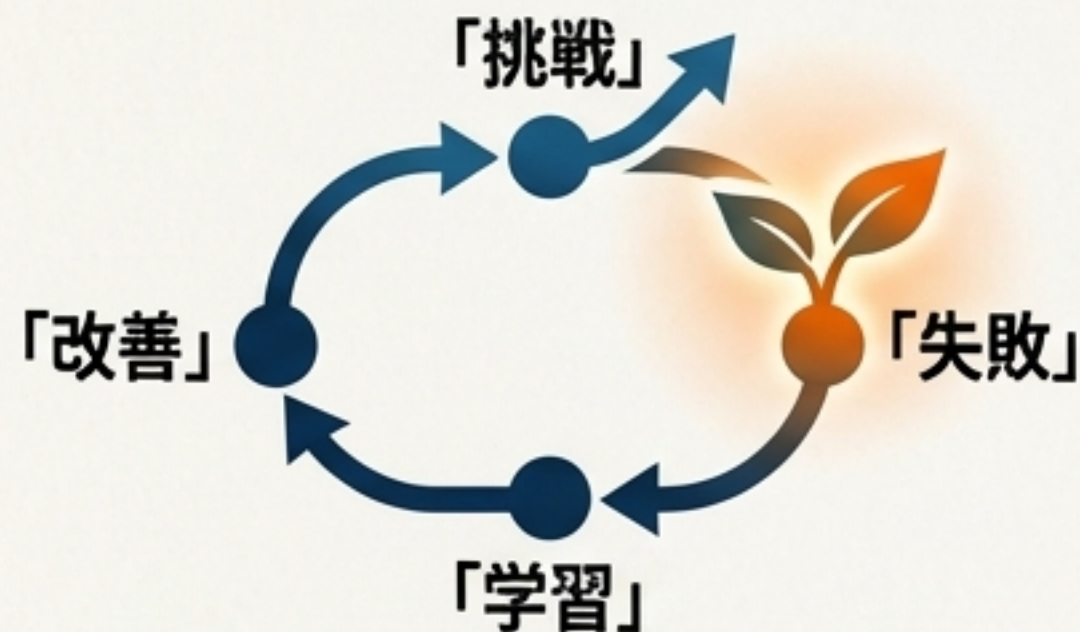
公的支援を徹底活用：「人材開発支援助成金」や「IT導入補助金」を使い、低コストで育成・導入を実現する。

変革を加速させる組織文化：挑戦を許容し、失敗から学ぶ



経営層・リーダーの役割

ビジョンを示す：5年後、10年後の会社の姿を明確な言葉で語り、全社に浸透させる。
メッセージを発信する：DXは単なるIT投資ではなく、「会社を変える経営改革」であることを繰り返し伝える。



現場に求められるマインドセット

アジャイルな文化へ：「失敗＝悪」ではなく、「失敗は学習プロセスの一部」と捉える文化を醸成する。



仕組みで支える

評価制度の変革：最終的な成果だけでなく、変革への挑戦やプロセスそのものを評価する仕組みを導入する。

あなたのDXは、明日この一歩から始まる

変化は、大きな計画からではなく、小さな行動から生まれる。

【洗い出す】現状の可視化



まずは自分の業務で「毎日繰り返している作業」「紙を使っている作業」を3つ書き出してみる。

次の24時間でできること

【試してみる】スモールスタート



無料で使える生成AI（ChatGPTなど）やRPAツールの30日間トライアルに申し込んで、何か一つ簡単な作業を自動化させてみる。

【共有する】学びの習慣化



DX関連のニュース記事の一つ読み、チームの朝礼やチャットで「この記事を読んでこう思った」と共有する場を作る。

「IT担当任せ」はもう終わり。DXは、私たち一人ひとりの課題です。